



取扱説明書

ワイヤレス送信機

品番 NTN88005



保証書付き

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に「**安全上のご注意**」(→ 右記)を必ずお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
 - 製品のイラストは、実際と異なる場合があります。

本機でできること：
本機は別売のワイヤレススピーカー(品番:NTN88004)と無線接続して、本機に接続したテレビ、Bluetooth®対応機器の音声を送信して出力することができます。

パナソニック株式会社 ライティング事業部
〒 571-8686 大阪府門真市門真 1048
© Panasonic Corporation 2021





TQBM0738
F0121MH0

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)			
	してはならない内容です。		実行しなければならない内容です。

警告

- 異常・故障時には直ちに使用を中止する**
異常があったときには、電源プラグを抜く
- 煙が出たり、異常なおいいや音が出る
 - 音声が出ないことがある
 - 内部に水や異物が入った
 - 本機、ACアダプターに変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
●本機に異常があるときは電源を切って、販売店にご相談ください。

- ACアダプターおよびDCケーブルのコード部や電源プラグを破損するようなことはしない**
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
●コードやプラグの修正は、販売店にご相談ください。

- コンセントや配線器具の定格を超える使用いかたや、交流 100 ～ 240 V 以外での使用はしない**
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

- 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりめらしたりしない**
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
●油煙や漏気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
●機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで本機を使用しない**
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

- 病院内や医療用電気機器のある場所では使用しない**
本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- 航空機内で使用しない**
本機からの電波が連航の安全に支障をきたすことがあります。

- 本機は可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない**
火災や爆発の原因となります。
●粉じんの発生する場所でも使わないでください。

- 分解、改造をしない**
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
感電の原因になります。

- ぬれ手禁止**

- 雷が鳴ったら、本機や AC アダプター、電源プラグに触れない**
感電の原因になります。

- 接触禁止**

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる**
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 電源プラグは根本まで確実に差し込む**
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 程度以上離す**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

- 不安定な場所に置かない**
ACアダプターを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動させようとすると、ACアダプターが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

- 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
●また、重量で外装ケースやトッパカバーが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

- 放熱を妨げない**
本機、ACアダプターは、本棚やラックの中など狭い空間に設置しないでください。
●本機、ACアダプターを新聞紙、テールクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない。
●本機、ACアダプターの近くに火のついたろうそくの燭火を置かない。内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因になることがあります。
外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

- 異常に温度が高くなるところに置かない**
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

- 油煙や漏気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない**
●電気が油や水分、ほこりを吸ったり、火災・感電の原因になることがあります。
●高温の蒸気で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると火災・故障の原因になることがあります。また、燭子などに油煙やほこりがたまり、故障の原因になります。

- 本機やACアダプターに磁気の影響を受けやすいものを近づけない**
本機やACアダプターの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなる可能性があります。

- 長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く**
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 電源プラグを抜く**

使用上のお願い

Bluetooth® について

■ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するFH-SS変調方式を採用した無線設備で、電波干渉距離が約10 m以下であることを意味します。
※1 2.402 GHz ～ 2.480 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Bluetooth® 機器使用上の注意事項
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くに移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえで、下記の連絡先にご連絡いただき、通信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター(→ 右記)

■ 機器認定

- 本機は、電気通信事業法の認証を受けたモジュールを搭載しています。
- 本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けています。ただし、標準規格に適合す。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解 / 改造する
 - ・ 定格銘板を消す / はがす

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。
 - ・ 電子レンジ
 - ・ デジタルコードレス電話機
 - ・ その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
 - ・ 電波が反射しやすい金属物などの近く
 - ・ 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎる、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイスピード用途®での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイスピード用途に使用しないでください。
※ ハイスピード用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制制 / 大量輸送システムにおける運転制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ご使用について

■ 使用、保管場所について

- 本機は、温帯気候での使用を意図して設計されています。
- 本機は屋内で使用してください。
- 直射日光が当たる場所や飯房器具の近くなど温度が非常に高い場所で使用したり、置いたりしない。
- ほこりの多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 振動の多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 風呂場など、湿気の多い場所で使用したり、置いたりしない。

■ 取り扱いについて

- 落としたりぶつかったりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

お手入れ

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
 - 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、変色するおそれがありますので使用しないでください。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは

■ ます、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは
「故障かな?」(→ 裏面)でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品品番	ワイヤレス送信機
品番	NTN88005
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中に本機が故障した場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
か、右記のお客様ご相談窓口へご連絡ください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、ご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用
※ 保証の例外	●24 時間連続使用など、1 日 20 時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分のとなります。
● 補修用性能部品の保有期間	【6 年】

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、右記のパナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター、パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口にご連絡ください。

●本機の修理対応

- 本機は、部品を分解して部品交換を行うことはできませんので、修理対応に本体交換を行う際の部品(ワイヤレス送信機完成品)を準備しています。
- 故障が発生した場合は、部品(ワイヤレス送信機完成品)に交換いたします。

パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

お手入れ・お取り扱い・修理・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、以下の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト	https://sumai.panasonic.jp/support/
使い方・お手入れなどのご相談	365日 受付9時～18時
パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター	
フリーダイヤル パナは ナットク ■ 左記電話番号が利用できない場合	06-6906-1109
0120-878-709	0120-872-460
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「8」と「6」を押してください。(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)	
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444	Osaka(06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

ライフソリューションズ 修理サービスサイト https://sumai.panasonic.jp/support/repair/

修理に関するご相談	365日 受付 平日9時～19時(日・祝・年末年始9時～18時)
パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口	
フリーダイヤル パナニ コー ■ 左記電話番号が利用できない場合	06-6906-1090
0120-872-150	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

付属品

付属品をご確認ください。

- ☐ DC ケーブル(1.2 m) : 1 本
☐ 音声接続コード : 1 本
☐ AC アダプター : 1 個

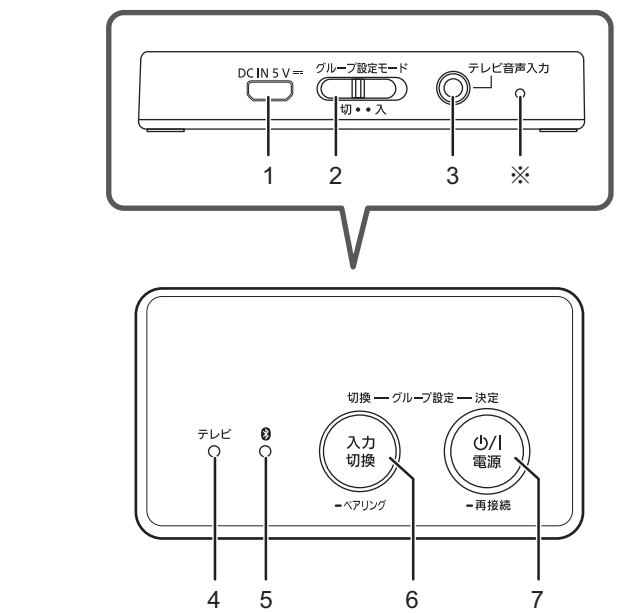
●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

ご使用に関するお知らせ

- 音楽・動画によっては、音割れや雑音が発生することがあります。その場合、テレビの音量を上げてください。
- テレビの音質設定で低域や高域を上げすぎると音がひずむことがあります。その場合、テレビの設定を調整してください。
- ワイヤレス送信機を手のひらで覆うと、通信が途断されて音が途切れる場合があります。
- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約 10 m です。障害物や設置環境によっては電波到達距離が短くなり、電波が弱くなったりします。
- グループ設定を間違えて使用していると、隣近所のスピーカーに誤接続して情報の漏えいにつながる場合があります。
- スピーカー側で音声がずれるときは、電源を入れ直したり、Bluetooth®接続をやり直してください。

音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。 音のエチケット シンボルマーク

各部のなまえ



- DC IN 端子
- グループ設定モードスイッチ
- 音声入力端子 (φ3.5 mm)
- テレビランプ
- Bluetooth® ランプ (→ 下記)
- 入力切換ボタン(入力切換 /— ペアリング)
- 電源ボタン (φ/ 電源 /— 再接続)

※ サービス用のボタンです。通常は使用しません。

DC (直流)
入 (ON)
切 (スタンバイ)

- 定格銘板は、本機の底面にあります。

Bluetooth® ランプについて

ゆっくり点滅 (約 4 秒間隔)	接続待機中
点滅 (約 1 秒間隔)	ペアリング (登録) 待機中
速い点滅 (約 0.5 秒間隔)	前回接続していた Bluetooth® 機器へ再接続を要求中

著作権など

Bluetooth® フードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では ™、® マークは一部明記していません。

本機をテレビに接続する

- 付属の AC アダプター、DC ケーブル、音声接続コード以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- DC ケーブルは端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にとると、端子が変形して故障の原因になります)

準備

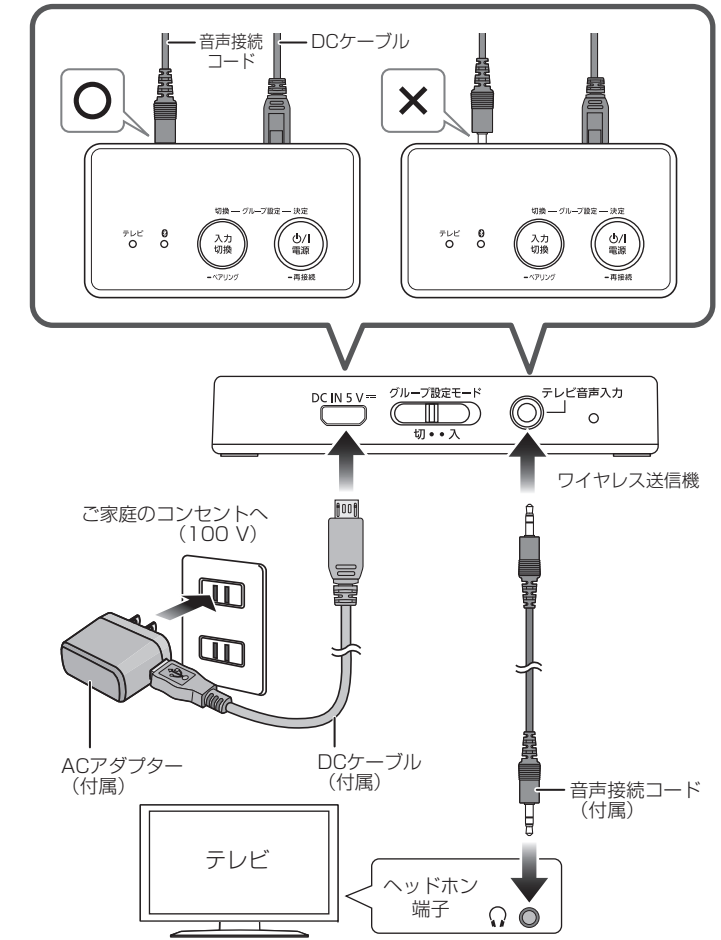
- 安全のため、すべて機器の電源を切ってから行ってください。**
- 接続完了後、スピーカーから大音量で出力される場合がありますので接続前にテレビの音量を下げておいてください。

1 AC アダプターを組み立てる

- AC アダプターに DC ケーブルを接続してください。
- DC ケーブルは必ず付属の AC アダプターに接続してご使用ください。他の機器に接続すると音割れや雑音が発生する場合があります。

2 音声接続コードで本機とテレビを接続する

- 音声接続コードのプラグは奥まで押し込むようにしてください。



お知らせ

- 本機には音量調節機能を搭載していないため、テレビの仕様によっては音量調節ができない場合があります。
- テレビのヘッドホン端子に接続時、テレビのスピーカーとヘッドホン端子の両方から音声が出るように設定できるテレビもあります。

本機の電源を入れる／切る

準備

- 本機を電源コンセントに接続しておく。

■ 本機の電源を入れるには

本機が電源に接続されている状態で、電源ボタンを押す

- 選択されている入力のランプが点灯します。

■ 本機の電源を切るには

本機の電源が入っている状態で、電源ボタンを押す

- テレビランプと Bluetooth® ランプが消灯し、電源が切れます。

本機を Bluetooth® 機器に接続する

準備

- Bluetooth® 機器は本機になるべく近づけておく。
- 必要に応じて、機器の取扱説明書で操作方法などを確認しておく。

本機を Bluetooth® 機器にペアリング (登録) して接続する

- 本機の電源を入れる (→ 「本機の電源を入れる / 切る」 (上記))
- 本機の入力切換ボタンを押し、入力を「Bluetooth®」にする
 - Bluetooth® ランプがゆっくり点滅 (約 4 秒間隔) し、入力が「Bluetooth®」になります。
- 本機の入力切換ボタンを約 5 秒押したまにする
 - Bluetooth® ランプが点滅 (約 1 秒間隔) し、ペアリング (登録) モードになります。
- Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能を有効にする
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューから、機器名「NTN88005-1」を選択する
 - 「NTN88005-1」が表示される前に BD アドレス (Bluetooth® Device アドレス: 機器によって表示される固有の英数字) が表示される場合があります。(Bluetooth® 機器によっては、上記以外の機器名 (「PAFW001」など) が表示されることがありますが、「NTN88005-1」を選択してください)
 - パスキーの入力を要求された場合は、本機のパスキー「0000」(ゼロ 4 つ) を入力してください。
 - Bluetooth® 接続が完了すると、Bluetooth® ランプが点滅から点灯に変わり、ペアリング (登録) が完了して接続状態になります。
- 本機と Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

お知らせ

- 表示される機器名の末尾の数字は現在設定されているグループの番号です。上記の例では、「グループ 1」に設定されていることを示しています。
- 2 分以内に機器の接続が完了しなかったときはペアリング (登録) モードが解除されます。(タイムアウト) 再度、登録をやり直してください。
- 本機に登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超過して登録すると、Bluetooth® 接続した機器が古いものから上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

登録済みの Bluetooth® 機器と接続する

- 本機の電源を入れる (→ 「本機の電源を入れる / 切る」 (上記))
- 本機の入力切換ボタンを押し、入力を「Bluetooth®」にする
 - Bluetooth® ランプが速く点滅 (約 0.5 秒間隔) します。
- Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能を有効にする
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューから、機器名「NTN88005-1」を選択する
- 本機と Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

お知らせ

- 本機は、最後に接続した機器を記憶しています。手順 3 (→ 上記) のあとに自動接続する場合もあります。

音声を聴く

本機を使ってテレビや Bluetooth® 機器の音声を聴くには、対応するワイヤレススピーカーなどが必要です。

本機に接続したテレビ、Bluetooth® 機器の音声をワイヤレススピーカー (別売) に送信して出力します。本機ではテレビと Bluetooth® 機器の音声を切り換えて楽しむことができます。

- 本書では別売のワイヤレススピーカー (品番: NTN88004) を例に説明しています。

準備

本機とワイヤレススピーカーを無線接続する

- ワイヤレススピーカーと本機を同じグループにする (→ 「グループ設定をする」 (下記))
- ワイヤレススピーカーを「子機」にする
- ワイヤレススピーカーの電源を入れる
- 本機の電源を入れる (→ 「本機の電源を入れる / 切る」 (左記))

お知らせ

- ワイヤレススピーカーの電源が入っている状態で本機の電源を入れると、自動的に無線接続されます。(推奨接続台数: 最大 8 台まで)
- 本機が「親機」、ワイヤレススピーカーが「子機」になります。
- ワイヤレススピーカーの接続や操作、「子機」、「親機」について、詳しくはワイヤレススピーカーの取扱説明書をお読みください。
- 本機とワイヤレススピーカーを再接続するには
 - 本機とワイヤレススピーカーの無線接続が切れてしまったときは、本機の電源ボタンをランプが 2 回点滅するまで約 2 秒押したまにしてください。本機とワイヤレススピーカーを再接続します。(本機の電源を入れた後にワイヤレススピーカーの電源を入れて無線接続ができなかった場合は、この操作で無線接続してください)

テレビの音声を聴く

- 本機の入力切換ボタンを押し、入力を「テレビ」にする
 - 入力を「テレビ」すると、テレビランプが点灯します。
- テレビを視聴する
 - ワイヤレススピーカーからテレビの音声が出力されます。

お知らせ

- 音量はテレビ側で設定してください。
- テレビの音声をワイヤレススピーカーから出力しながらテレビのスピーカーからも出力すると、音声がすれて聴こえることがあります。
- 音量を最大近くまで上げると、音などがひずんで聴こえるときがあります。その場合は、ひずみずに聴こえるまで音量を下げてください。

Bluetooth® 機器の音声を聴く

- 本機の入力切換ボタンを押し、入力を「Bluetooth®」にする
 - Bluetooth® ランプが点滅します。
- Bluetooth® 機器と本機を接続する (→ 「本機を Bluetooth® 機器に接続する」 (左記))
- Bluetooth® 機器側で、聴きたい音楽や動画などを選んで再生する
 - ワイヤレススピーカーから、再生した音楽や動画の音声が出力されます。

お知らせ

- 音量は Bluetooth® 機器側で設定してください。
- Bluetooth® 機器で動画再生時、映像に対して音声がすれて聴こえる場合があります。

本機の設定を変更する

グループ設定をする

無線接続のグループ (グループ 1 ~ 4) を設定します。グループを変更することにより、附近所などのスピーカーとの誤接続を防止します。

- お買い上げ時は「グループ 1」に設定されています。

準備

- 本機の電源を入れておく。

- グループ設定モードスイッチを「入」にして、グループ設定モードにする

2 設定したいグループの番号の回数分、入力切換ボタンを押す

- 入力切換ボタンを押した回数分のグループになります。

設定したいグループ	操作
グループ 1	入力切換ボタンを 1 回押す
グループ 2	入力切換ボタンを 2 回押す
グループ 3	入力切換ボタンを 3 回押す
グループ 4	入力切換ボタンを 4 回以上押す

3 電源ボタンを押して、グループを決定する

- グループが設定されます。設定したグループの番号の数だけ、テレビランプが点滅します。

4 グループ設定モードスイッチを「切」にする

- グループ設定モードを終了し、自動的に電源が切れます。

■ 現在のグループを確認するには

- グループ設定モードスイッチを「入」にする
- 電源ボタンを押す
 - 設定したグループの番号の数だけ、テレビランプが点滅します。

工場出荷設定に戻す

本機を廃棄したり譲渡するなど、本機をお買い上げの状態に戻す場合に行います。

準備

- AC アダプターと接続した DC ケーブルを本機に接続しておく。

電源ボタンと入力切換ボタンを押しながら、電源を入れる

- 電源を入れるには、AC アダプターをご家庭のコンセントに挿入してください。
- テレビランプと Bluetooth® ランプが点滅します。しばらくすると消灯して、工場出荷設定に戻り、電源が切れます。

■ お願い

- Bluetooth® 機器を本機に再度登録するためには、その機器側で登録情報 (機器名: NTN88005-1*) を消去してから、再度 Bluetooth® 機器に本機を登録してください。(→ 「本機を Bluetooth® 機器に接続する」 (左記))

※ 表示される機器名の末尾の数字は現在設定されているグループの番号です。上記の例では、「グループ 1」に設定されていることを示します。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確認してください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">本機と Bluetooth® 機器を機器登録 / 接続し直してください。(→ 「本機を Bluetooth® 機器に接続する」 (左記))Bluetooth® 機器側が「A2DP」プロファイルに対応しているか、確認してください。入力設定が再生する音源になっているか確認してください。(→ 「音声を聴く」 (左記))ワイヤレススピーカー (子機) とグループ設定が同じになっているか確認してください。(→ 「グループ設定をする」 (左記))本機とワイヤレススピーカー (子機) との接続が切れていませんか。接続し直してください。(→ 「本機とワイヤレススピーカーを再接続するには」 (左記「音声を聴く」))本機とワイヤレススピーカー (子機) の電源を入れ直してください。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none">Bluetooth® 機器で音量を上げてください。テレビのヘッドホン出力の音量を調整してください。
音が途切れる 雑音が多い 音質が悪い	<ul style="list-style-type: none">Bluetooth® 通信使用可能距離 (約 10 m) をを超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。使用していない有線 LAN 機器の電源を切ってください。付属の AC アダプターを使用してください。本機とワイヤレススピーカー (子機) の電源を入れ直してください。
Bluetooth® 機器と接続されない	<ul style="list-style-type: none">Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューなどから本機登録情報をいったん消去し、登録をやり直してください。(→ 「本機を Bluetooth® 機器に接続する」 (左記))ワイヤレススピーカー (子機) とグループ設定が同じになっているか確認してください。(→ 「グループ設定をする」 (左記))
ワイヤレススピーカーと無線接続されない	<ul style="list-style-type: none">ワイヤレススピーカー (子機) とグループ設定が同じになっているか確認してください。(→ 「グループ設定をする」 (左記))
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">DC ケーブル、AC アダプターが正しく接続されているか確認してください。(→ 「本機をテレビに接続する」 (左記))

仕様

■ 総合	
許容動作温度	5 °C ~ 35 °C
許容相対湿度	35 % ~ 85 % RH (結露なきこと)
音声入力	ステレオミニ (3.5 mm)
電源入力	USB マイクロタイプ B、DC 5 V
無信号時の消費電力	約 0.35 W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	88 mm × 16 mm × 49 mm
質量	約 33 g
■ AC アダプター (VSK0771)	
入力	AC100 V ~ 240 V、50/60 Hz、0.2 A 10 VA (100 V)、1.3 VA (240 V)
出力	DC 5 V、800 mA
■ Bluetooth® 部	
バージョン	Bluetooth® Ver. 5.0
送信出力	Class 1
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC
通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m*
登録機器台数	最大 8 台
グループ設定	4 種類

※ 温度 25 °C、高さ 1 m の条件で測定

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
(ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス漏 (硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 本書のご添付がない場合
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ト) 難島または難島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報 (保証書控) は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。ご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.